

フォート・ プラスキー

アメリカ合衆国国務省
国立公園サービス
ジョージア州
国定史跡

「ロッキー山脈を爆破するほうが簡単かもしれない。」

アメリカ合衆国技術長官
トッテン大将

2千5百万のレンガを使い厚さ7.5フィート（約2m30cm）に固められた壁を持つフォート・プラスキー（プラスキー砦）は、1847年の完成当時最強の防衛システムであったと言えます。完成以来この砦の一部は主要な港を敵から守っていましたが、防衛力の真価は南北戦争初期まで試されることがありませんでした。南北戦争初期からジョージア州の中隊が占領していた砦は、再び北軍に奪取されます。1862年4月11日、北軍は筒の内側にらせん状の溝を持つ大砲を使い、1マイル以上も離れたティビー島から砦を砲撃しました。レンガによる要塞を初めて撃ち負かした北軍の勝利によって、世界中の防衛戦略は大きく変わりました。



長い距離でも正確に射撃できる筒型で先細りした弾丸を、筒の内側にらせん状の溝を持つ大砲で打つのがいかに有効かを実証しました。砲撃が始まって30時間あまりで壁は突破され、南軍は降参しました。フォート・プラスキーの陥落は北軍による南部の港の封鎖をより強行にし、南軍にとってきわめて重要であった棉花の輸出、武器や日用品の輸入を困難にしました。何よりも新しい武器での戦術により、レンガによる要塞の時代の幕がここで閉じられました。

北軍の指揮官のこの言葉は軍事関係者たちに大きな衝撃を与えました：

「この砲撃の結果は、モニター号とメリマック号の戦いによって軍艦設計に新しい方向を与えたのと同じように、要塞建設に劇的な変化をもたらすきっかけになるだろう。石やレンガの造作では、強い衝撃をもたらす筒の内側にらせん状の溝を持つ大砲での砲撃にはもう打ち勝てないだろう。」

アメリカ陸軍
少将 デイビット・ハンター

国定史跡フォート・プラスキーへの行き方：

U.S.80東（ティビー島方向）で、サバンナの約15マイル東が入り口になります。

フォート・ プラスキーでは：

ご紹介ビデオ、資料展示と書籍売り場が用意されています。ご質問にはパーク・レンジャーがお答えできるよう常駐しています。

砦は、19世紀の軍事建設物の大切な資料として、ほぼ完全な状態で保存されています。サバンナ・リバーの河口に位置するフォート・プラスキーからは大西洋や史跡の5600エーカーを占める塩田がご覧いただけます。砦の中にあるオーディオ・ステーションでは歴史について、またこの地域についての簡単な紹介をお聞きいただけます。また季節によっては、特別な催し物が行われています。

フォート・プラスキーには、自然歩道、ピクニック・エリア、ポート乗り場などのレクリエーション施設もあります。詳しくはビジターセンターでお尋ねください。



開園時間

ビジターセンター 毎日 8:30 - 5:00

フォート・プラスキー 毎日 8:30 - 5:15

入場料あり

季節による開園時間の変更、

催し物等についてのお問い合わせは下記まで：

Superintendent

Fort Pulaski National Monument

P. O. Box 30757

Savannah, Georgia 31410-0757

電話 (912) 786-5787